

# —INFORMATION—

## 家族会 4月定例会及び総会の中止

新型コロナウイルス感染の影響により、4月の定例会及び総会は中止いたしました。

総会の議案は、郵送による書面決議の結果、承認されました。ご協力ありがとうございました。

6月定例会も現在の感染状況を踏まえ、中止させていただきます。

## ☆定例会 偶数月第3日曜日 10:00~

目黒区中央町社会教育館にて  
(目黒区中央町 2-4-18 さくらプラザ B1)

### 【今年の日程】

2020/8/16、10/18、12/20

### 【今年の行事予定】

- ・「しつらえ」教室
- ・楽 simou 会 バスツアー又はバーベキュー  
(今後の行事予定も状況により中止することもありますので、ご了承ください。)

## ☆通信いぶき発行 年3回

入会は随時承っております。

年会費：正会員 1家族 一口(1,000円)以上

賛助会員 2,000円

法人会員 一口 5,000円以上

### —現在の会員数—

正会員 16名 高次脳機能障害者家族

賛助会員 12名 2団体

いきいき福祉ネットワークセンター(職員)、厚生中央病院、東京医療センター、三宿病院、東邦大学病院(MSW,OT,ST)、三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック、祐天寺松本クリニック、榎林神経内科クリニック、目黒ケイホームクリニック、(株)アートイディア、一般市民の方など

## 「みらくるTV放送局」が開局 ネットにより人々のつながりを

心の唄コンサートでおなじみの木谷正道さんが、外出自粛要請の現状を、人々のつながりで乗り越えようとネットによる「みらくるTV放送局」を開局されました。

この放送局では、「高次脳機能障害と囲碁の会」や、心の唄バンドによる「みんなで歌おう」等の活動の他、当事者や家族が参加して話し合う番組「高次脳機能障害とは？」等、障害福祉や災害についての番組も配信されています。

配信時に見られない場合でも、後からYouTubeで見ることができます。

会場への入り方や詳しい番組案内は、下記のURLになります。

会場 <https://us02web.zoom.us/j/3782787584>

案内 <http://miracleTV.site/>

【連絡・問合せ先】

木谷 [kitanimasa@hira-taishin.jp](mailto:kitanimasa@hira-taishin.jp)



新型コロナウイルスの感染と向き合いながらの新しい生活スタイルが求められています。これからどのように付き合いければよいのか、感染による不安やストレスなどの心の問題の対処法が掲載されているサイト(一般社団法人日本産業カウンセラー協会)です。

今後の対処法など参考にされてはいかがでしょうか。

<https://www.counselor.or.jp/covid19/tabid/505/Default.aspx>

## 発行：目黒区高次脳機能障害者家族会

事務局：〒153-0064

東京都目黒区下目黒 3-5-16 パームコート内

TEL：03-3712-2731 (根本)

mail：ai-chino@aidea.co.jp

H P：https://megurokufamily.wixsite.com/megurokufamily/about1

制作：世話人会 / 印刷：(株)アートイディア

## 目黒区高次脳機能障害者家族会つうしん



第25号 2020年 6月発行

SINCE2010 MEGURO KOUJINOU KAZOKU-KAI

### 高次脳機能障害って何？

脳の損傷により、言語や思考・記憶・行為・学習・注意などに機能障害が起きた状態をいいます。

### 原因は？

脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)、交通事故などによる頭部外傷、その他低酸素脳症・脳炎等によります。

### 主な症状は？

記憶障害：新しい事が覚えられない

注意障害：集中力が続かない

脱抑制：抑制が効きにくい

遂行機能障害：物事の計画・実行がうまく出来ない

失語：言葉を理解・表現することが苦手

易疲労性：精神的に疲れやすい

半側空間無視：目の前の半分の空間(主に左側)を無視する・気付かない

一度損傷を受けた脳は、回復に時間はかかりますが、リハビリにより、障害の症状に応じた適切な対処法を身に着けることで、症状が改善されたり、障害とうまく付き合いけるようになります。

家族会は、同じ障害を持つ当事者・家族同士が、お互いの経験や悩みを話し合い、情報交換する場所です。是非お気軽にご参加ください。



## 「家族会」 これまでの10年、これからの10年

目黒区高次脳機能障害者家族会 前代表 濱出 昌子

目黒区高次脳機能障害者家族会の10周年にあたり心よりお喜び申し上げます。

昨年10月に目黒区総合庁舎で行われた三区合同勉強会に参加させて頂いて、一番印象に残ったことは、当事者の皆さんの様子の変化でした。1部のパネルディスカッション「高次脳機能障害者は「働いています」」では、社会に伝えたいことを自分たちで考え、自分自身の受傷から現在までを振り返り、客観的な意見としてまとめ、発表されました。大成功でしたね。登壇者だけでなく、皆さんが協力して自分の役割を果たしていらっしゃいました。

あらためて10年間という日々の積み重ねはそれぞれにとって貴重なものだったのだと思いました。

10年前、家族会が目黒で始まった頃、定例会には少しの当事者の方が、ご家族と一緒に来ていて、隣にただ座っているという感じでした。回を重ねていくうちに、次第に家族同士の発言ばかりでなく、当事者の方の声を聞くようになり、それがとても新鮮で、「そうなんだー」と、家では聞けないような発言が飛び出したりしていたのを思い出します。

また家族会には、前向きでポジティブなメンバーが多くいらして、当初から、「障害を持って自分らしく生きていく。夢を決してあきらめない。」という暗黙の目標がみんなにあったのだと思います。その様な前向きな目標を共有しながら、当事者の方達と一緒に色々な企画をして楽しく活動してきたと思います。その活動の中から多くのことを学び、家族会の皆さんも当事者の方達もそれぞれ前に進んだと感じています。

目黒の家族会は「いきいき\*せかんど」や、世田谷の長谷川幹先生の影響をとっても受けています。「いきいき\*せかんど」では高次脳機能障害に特化した丁寧なご指導を受けましたし、長谷川先生が理事長であります「日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会」の基本的な考え方、「様々な立場の人が、地域で共に支え合いながら生きていくこと」を軸として、当事者の主体性、家族の心の健康を一番に考えて活動してきました。3年前に現在の根本代表に代わってからも、この流れは続いていると思います。

最近では、家族会という古いような、もっと今風なピアな組織の在り方もあるのだろうとも思いますが、人と人が直接出会うようなピアな活動は確実にそれぞれのメンバーの力になるという事は事実だと思います。

形は変化しても、そここのところに注目してこれからも家族会、当事者会の活動が進んでいくことを望みます。

そして、当事者の方が主体的になってきた今、これからの家族会の役割や、当事者の方達との関係性には課題もあります。障害の特性もあり、当事者会を当事者だけで維持継続することは大変だと思いますが、そこのお手伝いのさじ加減が重要になると思います。また、逆に当事者の方に家族会が助けてもらうことも重要です。

新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、私たちも数々の試練や、我慢をせざる負えない状況下、地域のつながりはとても大切なものとなっています。これからも皆で協力しながら活動されていくことを願っています。

最後になりますが、家族会の活動にご支援いただいております全ての方々に感謝申し上げます。

どうぞこれからも宜しくお願い致します。